令和８年度

宇部市 コミュニティ・スクールだより

No.4

市 Web ページ

令和８年度「宇部市地域連携教育担当者研修会」の報告

１０月２日（金）、宇部市役所において９３名の参加者を得て標記の研修会を開催しました。当日は、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進を目的に、小・中学校３校に事例発表をしていただきました。

上宇部小学校では、グランドデザインに明示された「めざす子どもの姿」や「育てたい力」を教育活動の軸として位置づけ、実践された教育活動について地域の方とともに丁寧な見直しが行われていました。特に、活動内容や協働する団体の連絡先が示された「活動カード」が、学びを持続可能にするシンプルなツールとして紹介されました。


上宇部小学校



藤山中学校

藤山中学校では、地域の活性化に貢献する「地域元気応援隊」、学校の教育課程に基づいた「ヤング自治会」についての発表があり、両活動の基となる「学校運営協議会」の取組をわかりやすく説明されました。地域連携教育への取組が生徒の学力や自己有用感の向上に寄与しているとのことでした。

原小学校では、地域・学校・保護者の願いを三者で共有し、子どもたちの学びと育ちについて、方向性を一にして教育活動を推進していることの紹介がありました。発表の中で「学校の教育活動に参画する大人の姿を見せ続けることが大事」という言葉もあり、子どもたちを地域の「創り手」として育てるための大事な視点が語られました。


原小学校

後半は、小グループに分かれ、「子どもたちの『やまぐち PRIDE』を醸成するために私たちができること」をテーマに、事例発表についての感想や自分が関わる地域学校協働活動の取組を紹介し合いながら協議が進められました。

最後に、厚狭地区 CS チーフ　原本悦美様から本日の研修会の講評をいただきました。事例発表校について、カリキュラム内外において学校や地域に対する愛着と誇りを育む素晴らしい取組と評価された上で、以下のアドバイスをいただきました。

これからの地域連携教育に望むこと

① 「やまぐち PRIDE」の醸成について
「担い手」の育成から「創り手」の育成へとフェーズが変わった。地域の方との関係づくりを軸に、子どもたちが将来に明るい見通しをもてるような取組を進めてほしい。

② キャリア教育の視点について
地域の活性化に向け、一生懸命に楽しく取り組む大人の姿を見せてほしい。子どもが「参加」から「参画」する仕組みづくりを進めてほしい。

③ あこがれの連鎖を生むつながりづくりについて
学校活動、地域活動と様々な取組があるが、その中心は子どもたちであるということを再認識してほしい。小・中・高・上級学校間の連携の充実を図り、あこがれの連鎖を生むつながりを創ってほしい。

宇部市教育委員会社会教育課　コミュニティスクール推進係
Tel　０８３６－３７－２７８０　　E-mail：ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp